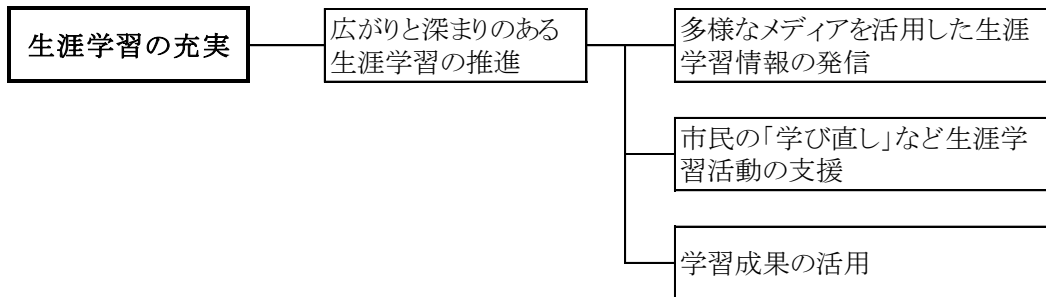


第4章 具体的な施策の内容

1 生涯学習の充実

■体系



(1) 広がりと深まりのある生涯学習の推進

① 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信

【現状と課題】

これまで、市の広報紙やホームページ等を通じ、生涯学習情報の提供を行ってきました。

市民が積極的に生涯学習に取り組むためには、生涯学習の必要性や楽しさを市民に伝え、学習への意欲を喚起するとともに、意欲を持った市民が求める情報を提供し、実践につなげていくことが必要です。

市民一人ひとりが円滑に学習できるよう、職業や年齢、地域等に捉われず、各人に適した手段及び方法による情報提供を行うことが求められます。

【今後の方針と取組】

市民が積極的に生涯学習に取り組むため、学習情報の収集・提供に努めるとともに、これらの内容の充実を図り、生涯学習の普及啓発と関心の喚起にも努めます。

【主な事業】

- ・ 広報「このへ」やホームページ等を通じた生涯学習情報の提供

② 市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援

【現状と課題】

変化の激しい社会情勢の中で、市民のライフスタイルも多様化しています。

市民が自己の充実・啓発や生活向上のために、生涯のいつでも必要な時に学び、何度でも新たな挑戦ができるよう学習環境の整備を図り、生涯学習社会の実現に向けた基盤づくりを進める必要があります。

市立図書館内には、高等教育の身近な学習機会の場として、放送大学岩手学習センター二戸校が開設されています。

【今後の方針と取組】

社会教育施設の機能充実を図り活用を促進するとともに、放送大学岩手学習センター二戸校の周知や利用環境の整備を図り、市民が気軽に立ち寄ることのできる学習拠点として活用されることを目指します。

【主な事業】

- ・ 放送大学岩手学習センター二戸校の周知、環境整備

●数値目標

| 評価指標 | 現 状 | 数値目標 | |
|--------------------------|----------|-------|-------|
| | 平成 26 年度 | 28 年度 | 32 年度 |
| 放送大学岩手学習センター二戸校延べ利用者数（人） | 54 | 60 | 80 |



放送大学岩手学習センター二戸校

③ 学習成果の活用

【現状と課題】

地域社会には、様々な場面で活躍できる人材がたくさんいます。また、高齢者人口の増加に伴い、社会貢献への意欲を持った市民も増加しています。

専門知識や技能・経験を社会に生かしたい、地域とのつながりを深めたいと考えている市民の意欲を後押しするため、学んだ成果が地域社会に還元され、効果的に発揮されるよう体系を整備していく必要があります。

【今後の方針と取組】

地域の学習支援者となる人材の発掘や養成を進め、社会教育活動で学んだ成果や、自らが社会で学んできた知識や経験を生かすことができる仕組みを構築します。

【主な事業】

- ・ ホームページ等による指導者情報の提供